

展開案（3 / 3 時目）＜高等学校＞

- ◆本時のねらい：「強み」に着目した交流活動を通して、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の「強み」を見付け、「強み」の生かし方を考えることができるようにする。
 - ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を生かしていこう。
 - ◆本時の展開（※）については、授業者がスライドに加筆したり授業者自身の言葉で思いを伝えたりして、スムーズな活動につなげたり、学習への理解を深めさせたりすることもできます)
- * ワークシートや振り返りシート等をまとめるもの（ファイル等）を準備します。

学習活動	ｽﾗｲﾄﾞ	指導上の留意点
(授業前)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングスライドを提示しておく。 ・交流活動ができる座席配置にしておく。 ・前時までのワークシートや振り返りシート（ファイル等）を返却し、自分の「強み」や前時までの学習を通じた気づき等を思い出すことができるようにする。 ・授業がスムーズに流れるように、前時で使用した「3時間のめあて」「『強み』の定義」「『強み』を理解するポイント」「ワークシートの回し方」「話し方と聴き方のポイント」を黒板に掲示しておく。
1 前時の活動を振り返る。 (4分)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のワークシートや振り返りシートに目を通す時間を設けることにより、前時の振り返りを促し、新しいグループの親和性を高めることができるようにする。 <p>※ 前時の授業写真を提示したり生徒の振り返りシートの記述等を紹介したりすることにより、温かい雰囲気づくりにつなげたり学習への意欲を高めたりする。</p>
2 本時のめあてを知る。 (1分)	3~5	<ul style="list-style-type: none"> ・「本時の流れ」を黒板に掲示することで、ふだん取り扱わない学習内容への見通しをもつことにより、安心して活動に取り組むことができるようにする。
3 「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」の交流活動（4人*）を行う。(25分)	6~8	<ul style="list-style-type: none"> ・関係のある「強み」をつなげることにより、「強み」を整理できるようにする。 ・授業場面以外で見付けた「強み」を新たに書き加えてもよいことを伝えて見通しをもたせることにより、時間いっぱい活動できるようにする。
(1) 1、2時目の活動で見付けた自分の「強み」を書き、関連した「強み」を線で結ぶ。活動①	9~11	<ul style="list-style-type: none"> ・「強み」を書き加えるときに自分の名前を書くことにより、友達を思いやる気持ちや活動への意欲を高めることができるようにする。
(2) 友達のワークシートに「強み」を書き加える。活動②		

<p>4 「これがあれば大丈夫！」の交流活動（4人*）を行う。 （9分）</p> <p>(1) 今後、これがあれば大丈夫だと思える「強み」を3つ選び、選んだ理由を書く。 活動①</p> <p>(2) 選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合う。 活動②</p> <p>5 本時の活動を振り返る。 （9分）</p> <p>(1) 振り返りシートに記述する。</p> <p>(2) グループで気づきを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が活動時間の見通しをもつことができるように、提示した時間の15秒ほど前に声を掛ける。 ・期待感をもたせるために、3人目まで終了したら、ワークシートを裏返しにして、教師の合図で本人に渡すようにする。 ・友達に「強み」を書き加えてもらったワークシートに目を通す時間を設けることにより、自分の「強み」を実感することができるようにする。 ・友達に「強み」を書き加えてもらった直後の感想を伝え合うことにより、グループの親和性を高めることができるようにする。 ・前時で使用した掲示物を示して「話し方と聴き方のポイント」を確認し、安心できる雰囲気の中で互いの思いや考えを伝え合うことができるようにする。 <p>※ 生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックすることにより、温かい雰囲気づくりをしたり次の交流活動につなげたりする。</p> <p>12・13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「強み」を3つ選ぶことにより、「強み」の優先順位を意識させ、自己理解を深めることができるようにする。 ・選んだ理由を考えさせることにより、「強み」の生かし方を具体的に考えたり、「強み」を生かしていこうとする意欲を高めたりすることができるようにする。 <p>14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝え方の話型を示すことにより、活動がスムーズに行われるようにする。 ・選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合うことにより、自分や友達の「強み」を更に生かしていこうとする意欲を高めることができるようにする。 <p>15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板に掲示した「本時の流れ」を確認することにより、学習した内容を具体的に振り返ることができるようにする。 ・気付いたことや感じたことをグループで伝え合うことにより、自己理解や他者理解を深めることができるようにする。 ・全体で出た感想を板書し、振り返る。 <p>※ 授業全体を通した生徒の活動の様子や教師が気付いたこと等を肯定的にフィードバックしたり、学級や生徒の実態に応じて学習内容を具体的に意味付けしたりすることにより、学</p>
--	---

<p>6 3時間のまとめをする。 (2分)</p>	<p>16・17</p>	<p>習内容に対する必要性和有用性を感じることができるようにする。</p> <p>・ 3時間の学習を振り返り、交流活動に熱心に参加した自分や、友達、学級全体に拍手をするなどして、互いのことを思いやる気持ちを称え、温かい雰囲気の中で授業を終わるようにする。</p> <p>※ これからも自分や友達の「強み」を見付け、互いに伝え合い、「強み」を生かしていきたいという意欲につなげるために、授業者自身の言葉で思いや願いを伝える。</p>
-------------------------------	--------------	---

◆評価の視点：『強み』に着目した交流活動を通して、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の「強み」を見付け、「強み」の生かし方を考えることができたか。

◆板書計画

The board plan is divided into five main sections:

- 3時間のめあて (3-hour goal):**
 - ① 自分や友達の「強み」を知ろう
 - ② 自分や友達の「強み」を生かさそう
 - ③ 自分や友達の「強み」を生かしていこう
- 本時の流れ (Lesson flow):**
 - ① 自分の「強み」を整理する
 - ② 友達の「強み」を見付けて伝える
 - ③ 自分の「強み」を選ぶ
- 「強み」の定義 (Definition of Strength):**

＝人の強み、強み、強み、強み

人に備わっているもの
人にあるもの
人夢もっているもの
- 「強み」を理解するポイント (Points to understand Strength):**

ポジティブ(プラス)だと思えることばかりでなく、ネガティブ(マイナス)に思えることも含めて、「強み」として考える
- ワークシートの回し方 (Worksheet rotation):**

【話し方のポイント】 【聞き方のポイント】

 - ① 相手を見る
 - ② 聞こえる声で話す
 - ③ はっきり話す
 - ① 相手を見る
 - ② うなずきながら聴く
 - ③ 最後まで聴く

(↑ 掲示必要時のみ使用)
- ◆学習の気づきや感想 (Learning reflections):**
 - ・
 - ・
 - ・

Below the board plan are three callout boxes:

- Left box:** いつでも確認することができるように、「3時間のめあて」「本時の流れ」「『強み』の定義」「『強み』を理解するポイント」を提示しておきます。
- Middle box:** 必要に応じて確認することができるように、「ワークシートの回し方」「話し方と聞き方のポイント」を提示します。
- Right box:** 振り返りを全体で共有するために、生徒の発言を板書(・)します。

◆授業前の取り扱い

* 交流活動におけるグループの人数は4人編成が望ましいが、4人にならない場合は、5人グループを編成する。その場合、ワークシートを回して行う活動では、指示通りに活動を進めて、3人回したところで終了する。

- ・ グループを意図的に構成し、生徒の心理的な負担を減らすように配慮する。
- ・ 生徒が学習を振り返ることができるようにするため、ワークシートや振り返りシート、学級通信等をファイル等にまとめて、生徒に配付する。

◆授業後の取り扱い

・ 生徒が学習を振り返ったり、自分の「強み」を生かしたりすることができるようにするため、3時間分のワークシートや振り返りシート、学級通信等をファイルにまとめて、「ストレングス・グッズ」として配付する。

◆授業後の取組例

- ・学級通信等で学習活動や生徒の感想を紹介し、家庭でも言葉掛けをしていただくようにする。
- ・進学や就職に向けた自己分析や自己PR資料として活用する。
- ・行事と関連させる。